

## 5月に向けて

代表取締役 三田雅憲

日一日と初夏の訪れが近づきつつある昨今皆様いかがお過ごしでしょうか。

当社は54年目にして初めて、経営計画（経営目標）をかかげ全社員の前で発表させて頂きました。

この計画目標には、企業価値を上げ、厳しい社会に生き残る会社でありたいという願いが込められています。

アフターコロナを経て、社会の変化（電車やバスに乗って職場に通勤することなく在宅で仕事をする人が増加したり、パチンコなどのギャンブルやマイカーを購入してドライブなどに乗る人が減るようになったり）が著しくなっています。帝国データバンクの集計によると、2023年度の日本国内の企業の倒産代数は前年比33.3%アップで、増加率はバブル崩壊後で一番高くなっております。業種別にみるとサービス業が最も多く、小売業、建設業などが続いているようです。又、2024年度の企業倒産も増加局面が続くとみられ、年度初めの4月以降さらに加速する可能性も指摘されております。そのような中であって、そういう不景をびくともせず創業もしくは創立から100年以上の長寿企業が、わが国においては4万3631社もあるようです。この数字は日本が世界の老舗大国であることを示しているようです。アリー・デ・グースの「千年企業」によると長寿企業には4つの共通点があるようです。第1は環境の変化に対して敏感であること。第2は長寿企業には強い結束力があり、企業組織全体の健康状態、（絆や信頼感）を大切にする経営者に経営を任せていること。第3に一人一人が責任感や信頼感を持って組織（チーム・班）を運営し、特にその現場の人々の判断を大切にしていること。第4に資金に関しては大変に保守的で、質素節約を旨としていること。（贅沢せず、身の丈に合った投資を行う）だそうです。具体的には、京都の福田金属箔粉工業

（1700創業）はもともと仏壇用の金箔や金粉の製造であったが、近年は携帯電話用の金属箔に進出し、変化に対応している。技能や技術の伝承は、単に守り続けるだけではなく、技術進歩や環境変化に対して新しい技術を生み出し習得することも含むのであります。

当社においても社長賞の中において「新製品開発賞」あるいは「アイデア賞」なるものに対して、社員の取り組みを表彰するカテゴリーがあります。特に時代の変化が大きい今こそ皆さんのアイデアが必要となっております。図書室の活用や、自己経験からアイデアが出てくることを期待しております。

又、社員皆さんに関わる大きな変化としては、第3土曜日が会社休日となったことでしょう。又、ケガや病気による入院保障などを会社負担で厚くする制度の充実も検討しております。そして、女性社員のセクハラなどをしっかりと無くした上で、女性活用の推進を進め、えるぼし認定企業になれるように、トップである私が目標と設定いたしますので、管理職をはじめ社員一同、その方向への協力をお願いします。その他環境整備に関しても少しずつですが、皆さんに安心して仕事をしていただけるように頑張っておりますので、よろしく申し上げます。